



DREAMING

Heart of the Dreaming 私たちは「心温かい信頼の医療」を目指しています。

DREAMING INTERVIEW



ドリーミングインタビュー

外科部長

はしもと あきひこ
橋本 明彦

出身地：福島県いわき市

趣味：サッカー



先生が医師になった理由を 教えてください。

これとって、医者をめざすきっかけとなった出来事はなかったですね。両親は医者ではありませんが、医者になることを勧められたとうか洗脳されたんでしょうか。

小学生の時には、医者になろうと決めていました。あとは、ブラックジャックとか読んでいたので、その影響もあります。

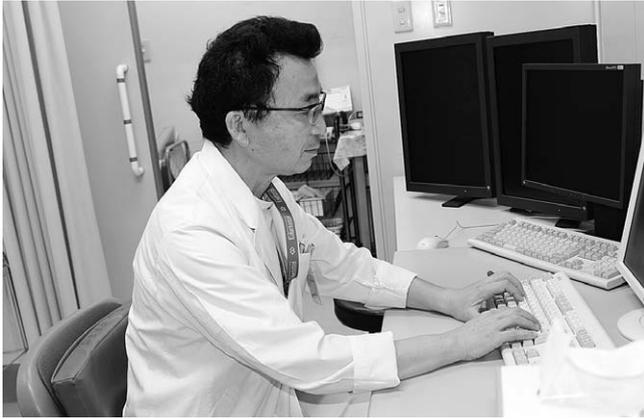


外科を選んだ理由を 教えてください。

これもブラックジャックですね。カッコいいと思ったからです(笑)。専門の領域は下部消

化管です。手術がうまくいって患者さんが退院するときが一番やりがいか充足感を感じますね。あとは5年間再発せずにしっかり治って、お大事にと送り出せるときですかね。大腸がんに関しては、5年生存率は結構高いですね。昔は5年生存したら完治としていたのですが、今は、術後5年経っても抗がん剤治療を受けながら闘病している人も結構います。僕が医者になったころは、余命1年くらいかなと思っていたようなケースも抗がん剤を使うことで、今は3年、治療がよく効いた場合には5年くらいは生存できる方もいますね。





診療の際、こころがけていることはありますか？

最近では、患者さんの話をよく聞くことです。患者さんの中には長話になる方もいるのですが、その長い話の中にも、診断のきっかけがあったりするんですね。



医師になったころと今とで変わったことはありますか？

最近、年をとったせいか体力が続かなくなったことです。集中力も2～3時間経ってくると落ちてくるので、長い手術が辛いときもあります。あと、目ですね。学生時代はすごく良かったけど、医者になってから急激に悪くなりました。実際こんなに目が悪かったら、外科医なんて目指さなかつたくらいです(笑)。そういうところをカバーするためにも、患者さんの話を良く聞いたり、術前画像をしっかりとみたり、手術前のシミュレーションをしっかりとやることに時間をかけるようになりました。



医師として経験してきたことで、特に印象深いエピソードは？

一番は大震災と原発事故ですね。その時は、福島県いわき市にいました。勤務していた病院は、海からわりと離れていたのですが、津波の心配はなく、救急患者を待っていたのですが、湾岸

地域の被害がひどく、津波警報も出ていて救急車も入れない状況になっていて、救急車も何もこなかったですね。受診すべき患者が受診できない状況でした。

電気・水道は早めに復旧して、ガスも2～3日で復旧したので、病院自体の影響はあまりなかったですね。ただ物資とか点滴が全然入らなくて、毎日透析の部品や抗生剤、点滴などの備品のチェックをみんなで集まってしていました。手術室は、建て増しでつないだところが割れて空が見える状況だったけど、一応2部屋使えるようにして、緊急の人だけはやろうって決めました。でも、原発が爆発した影響もあり、他の周辺、海沿いの病院の患者さんを全部広域搬送することになり、救急車は全部そちらに回り、救急患者さんをどこにも送れない状況でしたね。自宅の車で病院まできてもらって手術することもありました。

いわき市はそんなに放射線濃度が上がらなかったんですけど、高いときもあって、家族は山形の鶴岡に避難させました。自分は避難するわけにはいけないので、震災の影響で、高速も通れない中、子どもと奥さんだけで行かせることになった時は、医者の仕事ってつらいなと思いましたね。





先生のリフレッシュの方法は？

週に2回、だいたい4kmくらい走っています。もともとサッカーをやっていて、そのためにランニングをしていました。最近はサッカーやらずにランニングですけど、ボールを蹴って遊んだりもしていますね。youtube見ながら、かっこいいリフティングをまねしたりしています。山形の試合も仙台の試合もスタジアムに見にいきます。モンテディオ山形のファンクラブにも入りました。息子もサッカーやっていて、中学生のころ、試合で対戦した選手がモンテディオ山形のトップチームにいるんです。縁を感じて応援しています。

いまハマっているのは、そばとラーメンですね。山形はおいしいと聞いたのであちこち食べに行ってます。山形ラーメンは、わりとしっかりとしたこしのある麺と魚介系の味が好きですね。龍上海でも食べたんですけど、いわきでは、味噌ラーメンの魚介系はあまりなかったので新鮮でした。



患者さんへのメッセージ

ブラックジャックほどではないですが、患者さんを治すため日々努力をしています。

もちろん、高いお金は請求せずに保険請求で、ちゃんと免許も持っています(笑)。安定した医療を提供しますのでぜひよろしく願いいたします。

新任医師紹介



氏名 くさかべ じゅんや 日下部 詢弥

診療科 整形外科

出身地 神奈川県川崎市

趣味 散歩、読書

病院広報誌をご覧の皆さま大変お世話になっております。

4月より整形外科で1年間研修させていただき日下部詢弥と申します。

神奈川県川崎市の生まれの29歳で、大学入学を機に宮城県に参りました。大崎市民病院で初期研修、昨年は岩手県立中央病院整形外科に勤務しておりました。私は、大学4年生の際にラグビーで頸椎椎間板ヘルニアによる頸髄症で手術をして頂き、症状が劇的に改善したのをきっかけに整形外科に憧れました。現在、田中靖久病院長の下で勉強させていただいている自分はとても幸せであることの感謝を忘れずに日々過ごしてまいります。最後になりますが、好きな香りはライラックと金木犀で、好きな言葉は誠実と情熱です。今後ともご指導よろしく申し上げます。

フレッシュ・ボイス FRESH VOICE

病院にやってきたフレッシュさんのフレッシュな声を伝えるコーナーです。



看護師 **三浦 芙実香**

★私が看護師を志したのは…

祖父が入院した際に、祖父だけではなく不安でいっぱいだった私にまで優しく接して下さった看護師の方がいたことがきっかけです。私も患者さんとそのご家族に安心を与えられるような人になりたいと思い看護師を志しました。

★実際の現場に出て、いちばん意識して取り組んでいることは…

学生時代に学んだ基本を大切にして患者さんに関わることを意識しています。看護技術や患者さんへの声かけなど、慣れが生じてしまわないように一つ一つ丁寧にしていきたいです。

★看護師として勤務した中で、うれしかったことは…

手術後の患者さんの回復過程に携われていることに嬉しさを感じます。ADL(日常生活動作)が上がり、できることが増えていく患者さんの喜ぶ声を聞いたり、笑顔を見たりすると私まで嬉しくなります。

★学生時代は、〇〇を頑張りました！…

小学校から専門学校まで15年間、皆勤で登校することを頑張りました。体調をくずすことが少なく、学生時代休むことなく過ごしてきたのは自慢できる点だと思っています。

★これからこんな看護師になりたい！

こころにゆとりを持ち、優しく温かみのある対応で患者さんの支えになれる看護師を目指していきます。



診療放射線技師 **大場 朝水**

★私が放射線技師を志したのは

技師を志したきっかけは、高校生の時に行った大学のオープンキャンパスです。もともと医療系に興味があったのですが、そのオープンキャンパスで技師についての話を聞き、この仕事に就きたいと思いました。

★実際の現場に出て、いちばん意識して取り組んでいることは…

患者さんの状況に合わせて柔軟に対応することを意識しています。体を上手く動かさせない方も検査に来られるので、その方々が撮りやすいようなポジショニングや声かけをするよう心がけています。

★放射線技師として勤務した中で、うれしかったことは…

嬉しかったことは、患者さんに「この職員は対応が丁寧で良い」と言ってもらえたことです。日頃から接遇に関して努力していることが伝わったということだと思うので、これからも継続していきたいと思います。

★学生時代は、〇〇を頑張りました！…

学生時代はサークル活動の卓球を頑張っていました。大学に入ってから卓球を始めたのであまり上手くはないのですが、先輩などに教えてもらいながら励んでいました。

★これからこんな放射線技師になりたい！

放射線技師としての知識を身につけていくのはもちろん、他職種の方とも日頃から連携をとりながら、スムーズに検査を行える技師になりたいです。

縁の下の力持ち!



中央監視室編

病院では医療を提供するため、医師、看護師など直接患者さんに関わる仕事のほか、さまざまな仕事があります。今回は患者さんと直接関わらないけれど病院を支える仕事、病院の「縁の下の力持ち」を紹介します。

中央監視室ってどんなところ?

病棟1Fの奥にある部屋ですが、職員でも中に入ったことがある人は少ないのではないのでしょうか。中央監視室は、熱源・空調設備の運転操作や電気・水道・空調設備の監視を行うところです。電気技師1名とボイラー技士4名がおり、日中帯は電気技師1名とボイラー技士2名が、夜間帯はボイラー技士1名が業務に当たっています。



どんな業務を担当していますか?

電気技師は受変電設備・非常用発電機の点検、ナースコール設備・電気設備等の点検修理、電球交換、各種電気設備等の工事立ち合いなどを行い、ボイラー技士は熱源（ボイラーなど）・空調・水道の点検管理や各種施設修理・工事立ち合い等を行います。電気技師は主に電気設備をボイラー技士は主に施設の管理を担当しています。

業務に当たって心がけていることは?

患者さんと職員の安全を第一に考え、病院の業務に支障が出ないように施設や設備の管理を行うことを心がけ、日々業務に当たっています。このような業務に携わっていることもあり、10年前東日本大震災で大規模な停電が発生し、翌日に復電した瞬間は印象深く残っています。日々安全に心がけていますが、病院という命を扱うところでの修理、設備は緊張します。

患者さんとは直接かかわる仕事ではありませんが、院内の設備や施設の修理等で病室にお伺いする場合があります。作業音などご迷惑をお掛けする場合がありますが、ご理解ご協力をお願いします。



この連載では、地域医療連携でお世話になっている施設が、どんな医療を展開しておられるのか、お話を伺っています。



Q：開業のきっかけ

A： もともと私の母親が平成9年から山形市内に医院を開業しており、それなりの患者さんに来院していただいております。しかし、母親も寄る年波には勝てず、一人で診療を続けるのは大変になった、という事が一つありました。また、私自身も県内の病院を転々としておりましたが、妻子を山形に残して単身赴任していたため、山形市内で働く道が無いかと考えるようになりました。その二つが時期的に重なったことと、病院勤務時代から周囲の医院の先生とやりとりをする中で、医院での医療の大切さを目の当たりにし、自分もその役目を担いたいと考えました。そこで、母親の医院に勤務するという形で平成26年に当院の副院長に就任、令和2年からは院長に就任しました。

Q：日々のクリニックの様子

A： 以前から長く開業しているため、昔から通院されている比較的高齢の患者さんの受診が多いですが、周囲に馬見ヶ崎や嶋といった新興住宅地も多いことから、比較的若い方も多く受診しに来られます。通常の診療の合間に、消化管内視鏡検査や超音波画像検査などを行っています。心疾患、消化管疾患だけでなく、脂質異常や糖尿病といったいわゆる生活習慣病の患者さんも多く受診されています。午前は忙しい日が多いですが、午後はそれほど混雑せずに済んでいます。

Q：クリニックの特徴・こだわり

A： 医師が二人いますので、一人が検査をしている間ももう一人が診察をすることができるのが特徴です。名誉院長が循環器内科を、院長が消化器内科を専門としているため、幅広い疾患に対応が可能です。

当院で可能な検査は、上下部消化管内視鏡検査、超音波画像検査（心臓、腹部、頸動脈、甲状腺）、動脈硬化検査、骨密度検査、睡眠時無呼吸症候群検査などがあります。各種予防接種も行っており、毎年のインフルエンザ予防接種、今度始まった新型コロナウイルス予防接種と共に対応しています。また、禁煙外来も行っています。（禁煙外来は要事前予約）

Q：東北中央病院に対する要望

A： 当院の診療科の関係上、大腸ポリープの内視鏡的切除で紹介させていただくことが多いです。また、整形外科領域の疾患の患者さん対応でも大変お世話になっております。東北中央病院は20年以上前に私自身が勤務していた病院ですので、私にとっても思い入れのある病院の一つです。今後ともよろしくごお願い申し上げます。

プロフィール

まつだ こう
☆院長 松田 剛 先生

【内科、循環器内科、消化器内科、禁煙外来（要予約）】

☆いつ開業 平成9年10月1日

☆スタッフ 松田剛院長、
松田綾子名誉院長、
看護師7名、
事務4名

☆診療時間

	月	火	水	木	金	土	日・ 祝祭日
9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	×
14:30~18:00	○	○	○	×	○	○(※)	×

※土曜日午後は診療時間16:00まで、第4土曜日の午後は休診

〒990-0813 山形市桜町2丁目11番15号
Tel.023-682-3136





栄養管理室だより

自分の生活スタイルを見直し、食改善につなげましょう！

新年度もスタートし環境の変化やコロナ禍での生活にともない食生活も乱れがちになります。偏食、間食、食べ過ぎ、運動不足などが体重増加につながります。体重が増えることにより糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病へのリスクが高くなります。ここでもう一度、自分の生活スタイルを見直し、食改善につなげ出来ることから始めましょう。

食べ方について

ついつい咀嚼が足りなく、早食いになっていませんか？ 良く噛んでゆっくり食べましょう。おなかいっぱい食べていませんか？ 腹八分目にし、もう少し食べられるところでストップしましょう。ご飯から先に食べがちですが、野菜から先に食べることもポイントです。満腹感が得られ食べ過ぎを防ぎます。また、ごちそうが目の前にあるとついつい食べ過ぎてしまいがちです。

食べ過ぎすぎないためのポイント

- 食べる分だけを自分の皿に取り分けて食べること。
- 料理を作るときは、たくさん作りすぎないよう心がけましょう。
- 買い置き・買いだめをしすぎないこと。
- 見える所に置かない。
- 箱買いしない。



3度の食事をしっかり食べましょう

1食抜いてしまったり、食事量が少なくなったりすると、食事前についついお腹がすいて甘い物などの間食をしたり、次の食事の量が多くなったりします。1食でまとめ食いにならず、ムラ無く均等に食べることが大切です。またおなかがすいているときの買い物は買いすぎてしまい、結果、食べ過ぎにつながります。



食事バランスを整えましょう

1回の食事内容は、主食・主菜・副菜を揃えた内容にしましょう。おにぎりのみ、ざるそばのみ、丼物のみなど単品のみの食事になっていませんか？

一見ヘルシーにみえますが、栄養的に糖質のみと偏りがあります。外食やコンビニなどで選ばれる時も丼など一品メニューにならず、定食にしてみたり、総菜やカット野菜も追加し組み合わせましょう。その際は、栄養表示もチェックしてみましょう。



積極的に野菜を食べましょう

1日どのくらい食べたらよいのでしょうか。健康を維持・増進するためには1日350g以上摂ることが推奨されています。緑黄色野菜・淡色野菜・海藻・きのこ類も合わせて、また、旬のものを取り入れましょう。旬の野菜は一番栄養価が高く、その時期に身体に必要な栄養素が詰まっています。トマト・きゅうり・ピーマン・茄子といった夏野菜には、水分・カリウムを豊富に含んでいるものが多く、身体にこもった熱を体の中から冷ましてくれます。他にも野菜には、食べ過ぎ防止、腸内環境の改善、脂質の改善、血圧上昇の抑制の効果もあります。



Photo Sketch

東北中央病院/歳時アルバム

高齢者への
新型コロナワクチン接種
スタート

だき、職員が回って順次接種しました。

1日あたり360人(30×12グループ)でしたが、接種後、重篤なアナフィラキシー症状が出た方もおらず、スムーズに接種まで行えたので、多くの方が笑顔で安心して帰られました。

今後は2回目の接種も含め計10回の接種を予定しております。各部署の連携や情報共有を行い、更にスムーズにワクチン接種を行えるよう病院職員一丸となり取り組んでいきたいと思っております。

先日職員へのワクチン接種が終了し、当院でも5月29日(土)、30日(日)より高齢者へのワクチン接種(1回目)が始まりました。混雑・混乱を避けるため、外来エントランスホールをA会場、中央処置室前をB会場とし2カ所で接種を行いました。

当日の流れは、『体温測定→入場・受付→問診→ワクチン接種→経過観察』です。

接種会場では、接種者は椅子に座ったままで待機していた



専門外来のご紹介

2021年6月15日

専門外来	(詳細につきましては下記担当部署へお問い合わせください。)		担当部署
	担当医師	受付時間	
脊椎外来	田中靖久	毎週月・木 8:00~11:30、14:00~17:00 (当日受診も可能ですが、新患の方はできるかぎりお電話で予約をお取りください)	整形外科、地域医療連携室
膝関節外来	上村雅之 (東北大)	隔週月曜 予約制(初めてのの方は当院整形外科医師の診察後の予約となります)	整形外科
	秋 貴史 (東北大)	隔週水・金 予約制(初めてのの方は当院整形外科医師の診察後の予約となります)	
肩・肘スポーツ障害外来	川上 純 (東北大)	隔週金曜 予約制(初めてのの方は当院整形外科医師の診察後の予約となります)	整形外科
腎臓・リウマチ膠原病外来	今田恒夫 (山大)	第1金曜 8:00~11:30	循環器科、中央処置室
乳腺外来	山大医師	第2~5月曜 予約再診の方のみ	外科
		毎週火曜 8:00~11:00	
肛門外来	橋本明彦	毎週火曜 13:30~17:00 (予約のない方はお待たせする場合がありますので、事前にお電話で予約をお取りください)	外科
そけいヘルニア(脱腸)外来	設楽英樹	毎週木曜 予約制(事前にお電話で予約をお取りください)	外科
肝臓外来	渡辺久剛	毎週火・木・金 予約制(お電話にてお問い合わせください)	消化器・肝臓内科
不妊症外来、生理痛外来	岡根夏美	月・火・金 8:00~11:30、14:00~17:00	婦人科
		水曜 8:00~11:30、木曜 14:00~17:00	
みみ・はな・のどの学童外来	稲村和俊	毎週月曜 14:30~16:30	耳鼻咽喉科
みみの健康外来	稲村和俊	毎週水曜 14:30~15:30	耳鼻咽喉科

編集
後記

病院でも高齢者の方の新型コロナワクチン接種が始まっています。予約の電話がなかなかつながらないなど混乱がみられましたが、ワクチン接種が進み一日でも早いコロナ感染終息につながることを祈るばかりです。

公立学校共済組合 東北中央病院

〒990-8510 山形市和合町 3-2-5
TEL 023-623-5111 FAX 023-622-1494
<https://tohoku-ctr-hsp.com>
E-mail: jimu@tohoku-ctr-hsp.com

■発行責任者/田中靖久 ■編集/広報委員会

東北中央病院
ホームページへ
GO!

ご利用の携帯端末によっては、アクセスできない場合があります。

